

加盟団体 各位
役員 各位

(公社) 全日本アーチェリー連盟
会長職務代行者 島田 晴男
(公印省略)

第 29 回ユニバーシアード競技大会最終選考会開催要項

- 主催 (公社) 全日本アーチェリー連盟
主管 (公社) 全日本アーチェリー連盟強化部
協力 全日本学生アーチェリー連盟
- 1 日程 2017 年 4 月 25 日 (火) ～ 4 月 27 日 (木)
- 4 月 25 日 (火) 14:00～16:00 受付、弓具検査、公式練習
16:10～16:20 開会式
- 4 月 26 日 (水) 9:00～9:45 自由練習
10:00～15:00 70m ラウンド 2 回 (144 射)
- 4 月 27 日 (木) 9:00～9:45 自由練習
10:00～15:00 70m ラウンド 2 回 (144 射)
16:00～16:20 閉会式
- *70m ラウンド 4 回の合計得点で順位を決定し、男女各 上位 3 名が第 29 回ユニバーシアード競技大会に出場する。
- *同点の場合、シュートオフで順位を決定する。
- ※ユニバーシアード日本選手団の編成について
日本オリンピック委員会の編成方針により、コンパウンドの派遣は行わない。
- 2 会場 愛知県岡崎市高隆寺町峠 1 番地 岡崎中央総合公園
- 3 参加費 5,000 円
- 4 宿泊 各自手配
- 5 競技方法 全日本アーチェリー連盟競技規則 2016～2017 年 による
- 6 選考対象期間 2016 年 3 月 1 日 (火) から 2017 年 2 月 28 日 (火) までとする。

7 出場手続き

①出場要件

- ア) 1989年1月1日から1999年12月31日までに間に生まれた者で日本国籍を有し、2017年4月1日において大学または大学院に在学中、もしくは2016年および2017年に大学または大学院を卒業した者。
- イ) 選考対象期間の全日本公認大会の70mラウンドにおいて男子640点、女子620点以上を複数回記録している者。
- ウ) 申請された上位2回の合計点の高いものを上位として、男女各12名を参加有資格者とする。
- エ) 同点の場合、申請された上位2回の得点のうち、70mラウンド72射において高得点を有する者を参加有資格者とする。
- オ) 代表選手に選出された場合は当連盟強化部の方針に従い、同部が推進する強化事業に取り組む。

②前記の資格を有する者は、別紙「出場資格申請書」に必要事項を記入し、加盟団体を通して当連盟に申し込むこと。

※本選考会は大学院の学生、大学および大学院の卒業者の一部等も対象になるため、全日本学生アーチェリー連盟だけでなく、該当者がいる加盟団体も申込手続きが必要となる。

③選考会議による出場者決定後、直ちに選考結果を加盟団体に通知する。

④出場者は加盟団体より選考結果通知後、下記指定口座に参加費を振り込み、その控えまたはコピーと共に別紙「参加費納付書」を添えて当連盟に送付すること。

⑤参加費の振込み後の辞退は認められないが、やむを得ない事情で欠場する場合は、その理由を明記した欠場届けを加盟団体から本連盟に提出することとし、その場合、参加費は返却しない

⑥申込締切日 **2017年3月17日(金) 必着**

⑦選考会議 2017年3月18日(土)

⑧申込み先 〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
全日本アーチェリー連盟 TEL : 03-3481-2402
FAX : 03-3481-2403

⑨振込先 名義 全日本アーチェリー連盟
口座 みずほ銀行 渋谷支店 普通 9104120

8 派遣手続

5月17日(水)に国立スポーツ科学センターにて派遣手続およびメデ

イカルチェック（Tシャツ・ショートパンツを持参）を実施する。
移動・宿泊等についての詳細は、後日連絡する。

- 9 その他
- ①事前に実施される第49回世界選手権大会第二次選考会において、本選考会出場者が最終選考候補（上位4名）に選出された場合、当該選手は出場できない。（該当者が出た場合、出場者の追加はしない。）
 - ②選手はスターバッジ及び会員証を必ず携行すること。
 - ③選考会出場決定選手は、国際競技大会調査票（2017年4月1日現在）および2018年2月28日まで有効な日本国パスポート第2ページ（顔写真・旅券番号のページ）の鮮明なカラーコピーを提出すること。
（出場選手決定時に別途案内）
不提出者は、選考対象外となるので注意すること。
 - ④競技日程 8月20日～24日（中華台北・台北）
 - ⑤強化合宿 8月12日～出発日（国立スポーツ科学センター）

選手の心構え

①選手は、礼儀を尊び規律を遵守し、活力ある日本を代表するにふさわしく、かつ他国参加者との友好と国際親善に寄与できること。（JOCによる日本選手団編成方針抜粋）

②ドーピング検査への対応

☆選手は、競技会前7日間に服用した医薬品（処方薬・売薬を問わない）および摂取したサプリメント類の名前と量を記したメモを携行することが望ましい。

☆病気・怪我等の治療のため禁止物質の服用および禁止方法を実施している場合、「JADA TUE 申請書」を日本アンチドーピング機構（JADA）に提出する必要がある。

TUE → 治療使用特例

☆不明な点は、全日本アーチェリー連盟事務局に問合せること。

以 上